



誰もが  
ありのままに  
つながる社会  
  
それは  
「知る」から  
始まる

# 『いのち輝いて生きる』

未来を担う子どもたちのために

部落差別解消法から10年。

差別のない社会を作るためには、改めて部落差別に学び、

わたしたち大人がどう生きるべきか、自らの意識を見つめ直してみませんか。

部落差別を終わらせ、未来を担う子どもたちが

「いのち輝いて生きていくために」

第2回  
人権啓発連続講座

日時

2026年  
**8/26** 水  
13:30 ▶ 15:00

会場

マルシン  クリスタルアージュ  4F小ホール

予約制

**対象:** 先着80名まで

興味・関心のある方どなたでも  
ご参加いただけます。

**申込・お問合せ:**

**お申込みください。**



電話・メール または  
申込フォームから



**☎ 0826-45-4922**  
ko-zinken@city.akitakata.jp

(受付: 平日9:00~17:00)

講師

**坂田かおり** さん

部落解放同盟鳥取県連合会女性部部长  
部落解放同盟鳥取県連合会西部地区協議会女性部部长  
部落解放同盟鳥取連合会米子市協議会議長・女性部部长  
人権テイク・ルート 代表・オーガナイザー

鳥取県西伯郡大山町の被差別部落出身。

小・中学生時代に学習会で学んだ同和教育が、  
私の人権感覚の原点となった。

自らを隠さずありのままに語り合う中で、仲間とつながる大切さ、  
多種多様な生き方の存在を確認する。

2001年・・・A社職員から差別発言を受ける。

2002年・・・「黙っていても差別はなくなる」と気付き、

自らが啓発することで差別をなくしたいと決意。

米子市人権政策課・同和地区生活相談員として市内同和地区住民の生活相談に従事する。

すべては知ることから始まる、知らなければ何も始まらない・・・。

そんな思いから人権をテーマにした講演活動「いのち輝いて生きる」を長年に亘りつづける。

「送り出した子どもたちが差別の厳しい現実と直面していく。この現実を変えたい!」

2022年12月 レインボー・ツリー (子ども・みんなの食堂) スタート



【主催・お問合せ先】 甲田人権福祉センター